

真田地域協議会 分科会 協議報告

平成 29 年度 第 2 分科会

分科会協議テーマ 「公共交通機関の存続と今後の在り方」

役 職	委員氏名	自治センター
分 科 会 長	西 牧 真 吾	大熊建設課長
副分科会長	長 崎 理 恵 子	堀内市民サービス課長
	倉 島 秀 紀	伊藤地域政策担当主査
	倉 嶋 幸 雄	
	齋 藤 恵	
	藤 澤 累 美 子	
	宮 下 俊 哉	

1 はじめに

第2分科会では、第二次上田市総合計画の「地域の特性と発展の方向性」に位置付けられている、「地域の活性化に向けた交通ネットワークの整備」に着目した、「公共交通機関の存続と今後の在り方」を協議テーマとし、調査・研究を行ってまいりました。

真田地域協議会における公共交通の協議テーマについては、過去にも協議されており、まとめられています。第3期地域協議会（平成22年度～平成23年度）では、市長への意見書としてまとめ、公共交通（路線バス）の利用促進に向けて、「利便性に配慮し地域住民のバス利用を促進」と「観光客のバス利用を促進」について市長への提言を行っています。第4期地域協議会（平成24年度～平成25年度）では、協議報告としてまとめ、平成23年10月に発足した真田地域公共交通利用促進協議会の活動を踏まえ、公共交通の維持は必要であるという観点から、利用促進に向けた利便性の向上について協議し、公共交通を「乗って残す」ための提言をまとめました。

今期は過去にまとめられた協議内容や、市の交通政策の担当者から現状の取組み及び今後の展開、また他地域での取組事例等の話を聞くなど調査を行いながら協議を重ねました。平成25年10月からスタートした運賃低減バスは3年間の実証運行を終えましたが、今後の在り方を検証しながら当面継続されることとなっております。今後、高齢化が進むにつれて、「生活の足」として公共交通の必要性が、益々高まってくると考えられる中、これをどう維持・確保していくか、また、路線バスが廃止された場合、どのような交通体系が必要かについて協議を進めました。

2 現状と課題

公共交通は、非常に重要な社会基盤整備です。しかしながら、多くの住民は自家用車に依存している状況にあります。運賃低減バスの実証運行が始まり、実証運行前に比べると利用者は増加しておりますが、今後の人口減少が予想される中、利用者は減少していくことが予想されます。

一方で、学生や高齢者の生活を支えるためには、公共交通の確保は重要な課題です。分科会では現在の公共交通にはどのような課題や問題があるのか出し合い検討しました。

（1）全体的な課題

- ・ 少子高齢化による人口減少及び交通弱者の方々への今後の対応が必要である。

（2）運賃低減バスについて

- ・ 真田地域で運行している運賃低減バスは、実証運行前の1.5倍の輸送人員の増加を目指しているが、目標には至っておらず、廃止の可能性がある。
- ・ 人口減少している地域であるため、どんなに運賃低減を実施しても利用者を増やすことは難しい。
- ・ 利用促進にも限界がある。日常の足として利用されないと公共交通の維持は難しい。

(参考) 運賃低減バスの実績

路線	H25年度			H26年度			H27年度			H28年度		
	(H25.10~H26.3) (6か月)			(H26.4~H27.3)			(H27.4~H28.3)			(H28.4~H29.3)		
	実証前(人)	実証後(人)	実証前比	実証前(人)	実証後(人)	実証前比	実証前(人)	実証後(人)	実証前比	実証前(人)	実証後(人)	実証前比
傍陽線	31,834	32,788	1.030	64,177	92,986	1.449	64,177	85,482	1.332	64,177	90,531	1.411
菅平線	51,123	51,624	1.010	94,159	109,008	1.158	94,159	104,037	1.105	94,159	104,671	1.112
真田線	13,930	16,459	1.182	25,610	26,741	1.044	25,610	30,924	1.207	25,610	38,996	1.523
渋沢線	6,891	8,572	1.244	15,267	18,311	1.199	15,267	17,630	1.155	15,267	19,813	1.298
小計	103,778	109,443	1.055	199,213	247,046	1.240	199,213	238,073	1.195	199,213	254,011	1.275

(3) 路線バスについて

- ・上田市内及び真田地域の各路線が複雑で分かりづらい。
- ・交通弱者である高齢者が利用しにくい。
- ・通勤する方はバス降車後のアクセスが整理されておらず利用しにくい。
- ・家からバス停まで行くことが大変。
- ・乗り継ぎが不便。
- ・路線バスは荷物を載せるスペースがない。
- ・路線バスは移動時間がかかる。
- ・待っている時間や荷物が多くなった時のことを考えると路線バスは敬遠されてしまう。
- ・時刻表が複雑で見づらい。

(4) その他

- ・NPO法人による高齢者の移送サービスが充実してきている。

3 協議内容報告

出された課題を整理、検討し、現在運行されている公共交通の改善策や今後の公共交通としてなにが必要なのか、次のとおりまとめてみました。

(1) 現在運行されている公共交通の改善策

- ①行政や各種団体と連携し路線バスの利用促進を行い、地域の交通を地域で守る取り組みの強化が必要です。
- ②乗車が多い年齢層の把握や利用者ニーズの把握に努め、公共機関の利用しやすい路線・ダイヤを随時見直していく必要があります。
- ③現在、「真田自治センター入口」が乗り継ぎのバス停となっておりますが、「ゆきむら夢工房」へ変更し、「ゆきむら夢工房」のバスターミナル化の実現を望みます。待合所としても活用し、子供たちや高齢者が安心して待っていられる環境が確保できると思われまます。

- ④市内外の企業への広報活動を実施し、通勤者の利用者を増やす施策が必要です。
- ⑤広報活動が不足しているため、有線放送等を活用した広報活動が必要です。例えば、上田市街や真田地域内でイベントがある際には、有線放送でバス利用を呼びかけるなどが考えられます。(信州上田大花火大会・信州上田祇園祭・上田わっしょい、真田まつり、等)
- ⑥病院やスーパーを経由して上田駅へ行くような路線を検討したらどうかと考えます。
- ⑦高等学校通学費等補助金の継続を望みます。

以上の対応策が考えられますが、時間と費用がかかる対応策と、すぐに出来得る対応策を整理し、十分に検討していく必要があります。

(2) 今後の公共交通について

①循環バス、オンデマンド交通の必要性

循環バスは、一昨年度から運行されている「真田の郷周遊観光バス」でも利便性が確認されており、これを公共交通として展開してはどうかと考えます。また、オンデマンド交通は、様々な運行形態が考えられますが、先行事例を参考にしながら検討を始めてはどうかと考えます。

②現状の大きな括り（路線バス停車場）から小さな拠点、タクシー等の利用

「真田地域自治センター」や「ゆきむら夢工房」を小さな拠点として位置づけ、各集落から小さな拠点まではタクシーなどの小さい乗り物で集め、小さな拠点から上田方面へは路線バスを活用してはどうかと考えます。

③パークアンドライドを含めた地域力での展開

ゆきむら夢工房前には、自宅からバス停まで自家用車で移動し、バス停からは路線バスを利用するためのパークアンドライド駐車場が用意されておりますが、利用者は少ないと思われます。利用促進へ向けた広報活動の強化が必要です。

豊殿地区で取り組まれている循環バスの「あやめ号」は住民自らが運行し、まさに地域の力で運行しております。真田地域にも行政やバス会社に頼らない取り組みも必要と考えます。実現させるためには、住民自らの気運の高まりが必要となりますが、そういった動きがあった場合は、十分なサポート体制が求められます。

また、自治会の中では自らの力で高齢者などの交通弱者を送迎したいという声があります。法的にクリアしなければならない課題はありますが、仕組みづくりの検討や支援が必要です。

④福祉を重点に置いた連携方法の確立

高齢者や病気を持っておられる方が最低限の生活を送るためには、病院や買い物に行く“足”が必要です。真田老人福祉センター送迎用の「ふれあいバス」、ふれあいさなだ館の送迎バス、JAの買い物用の送迎バスなど、現在運行している様々な送迎バスを連携させ、生活の足として活用したらどうかと考えます。

4 おわりに

私達、第2分科会では公共交通の存続と今後の在り方について、14回の協議を重ねてまいりました。協議を進める過程で現状の課題を洗い出し、その中からどのような姿が、住民にとって、より良い交通手段になるかを話し合い、考えられる改善案、そして今後の公共交通として何が必要かをまとめました。

具体的な改善案や今後の展開についての詳細部分までをまとめることが出来ませんでした。当分科会で話し合われた内容を、住民とともに行政及び地域の各種団体等と連携し、継続して話し合いを進めていく必要があります。

また、公共交通の問題は、単独で議論するのではなく、真田地域の「地域づくり」と一体として総合的に考えていくことが、解決につながり、さらには地域の発展にも寄与するものと考えます。

本年度の協議事項を糧に今後の活動に期待し、第2分科会としての報告といたします。